

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	経済専門部会（第2回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 迫田 明巳	
開催日時	平成22年7月13日 19:00 ~ 20:50			
開催場所	鹿追町役場2階 第2会議室			
会議次第 配布資料等	<input type="checkbox"/> 会議次第は特になし <input type="checkbox"/> 当日配布資料 別紙 まちづくり基本条例説明資料			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 中野 松雄	出	〃 石川 昇司
	欠	代理 窪田 秀俊	出	〃 畑 久雄
	出	委員 鈴木 敏勝	出	農業振興課長 松本 新吾
	出	〃 佐藤 章一	出	商工観光課長 黒井 敦志
	出	〃 坂本 昌彦	出	農委事務局長 小林 正人
	出	〃 村瀬 緑	出	建設水道課長 津田 祐治
	欠	〃 鈴木 朝子	出	企画財政課 迫田 明巳
	欠	〃 志賀 浩一		
出席説明員	農業振興課 課長補佐 浅野 富夫 〃 耕地整備係長 檜山 敏行 〃 農政係長 草野 礼行 〃 環境保全センター係長 城石 賢一			
説明概要	<input type="checkbox"/> まちづくり基本条例について（松本農業振興課長） <ul style="list-style-type: none"> <li>・町長からの諮問を受けて、町民会議での1年間の検討を経て、3月の議会に提案・可決され、22年4月1日施行</li> <li>・条例の最上位、まちづくりの基本、今後全ての条例はまちづくり基本条例に沿って制定される</li> <li>・8章の計画策定等の手続きで、総合計画を広く町民の参加の下に作成し、町民に分かりやすく公表するということが規定されている。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 総合計画について（松本農業振興課長） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治法によって定められており、市町村の事務処理についての計画を作成。基本構想については議会の議決を要する。</li> <li>・第6期の総合計画は審議会・策定会議を経て、3月議会に提案する見込。H23年度からスタートする。</li> <li>・第5期の総合計画の体系について説明</li> <li>・個々具体の施策まで検討していただくことになる。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 農政係所管事業について（草野農政係長） 連番 44～48 <ul style="list-style-type: none"> <li>・H22.3に閣議決定された、国の「新たな食料・農業・農村基本計画」と第5期総合計画から継承すべきものを基本に、原案を作成している。</li> <li>・「政策」「食」の項目は国の計画に準じた新規施策</li> <li>・「環境」「担い手」「地域資源」は第5期からの継承事項</li> </ul>			

議事概要	<ul style="list-style-type: none"><li>□個別所得保証制度について ⇒国の動向を注視しながら検討</li><li>□食料自給率の向上について ⇒高カロリーへの転換ではなく単収アップを目指す</li><li>□二次加工商品の生産・販売について ⇒ワーキングセンターの今後の方向性の検討</li><li>□オーガニック野菜の検討、クリーンな農業について ⇒今後検討の余地あり。販路等も含めて。</li></ul>
------	--

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	経済専門部会（第3回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 迫田 明巳	
開催日時	平成22年7月29日 19:00 ～ 21:00			
開催場所	鹿追町役場2階 第2会議室			
会議次第 配布資料等	<input type="checkbox"/> 会議次第は特になし <input type="checkbox"/> 当日配布資料 別紙 公営・町営住宅説明資料（建設水道課）			
委員 事務局等 出 欠	出	部会長 中野 松雄	出	〃 石川 昇司
	出	代理 窪田 秀俊	出	〃 畑 久雄
	欠	委員 鈴木 敏勝	欠	農業振興課長 松本 新吾
	欠	〃 佐藤 章一	出	商工観光課長 黒井 敦志
	出	〃 坂本 昌彦	出	農委事務局長 小林 正人
	出	〃 村瀬 緑	出	建設水道課長 津田 祐治
	出	〃 鈴木 朝子	出	企画財政課 迫田 明巳
	欠	〃 志賀 浩一		
出席説明員	農業振興課 課長補佐 浅野 富夫 〃 環境保全センター係長 城石 賢一 建設水道課 課長補佐 蓮井 悦郎 車両公園係長 坂井 克巳 建築係長 富樫 靖 建築係技師 小森 元			
説明概要	<input type="checkbox"/> 畜産環境整備係、環境保全センター係所管事業について （浅野補佐） 連番 53～54 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には第5期総計を継続</li> <li>・生産基盤強化については、H21年度まで草地更新事業を実施。H22年度以降は、酪農家の要望を聞き、道とも協議しながら、補助金を受けて行っていきたい。このままでいくと、H24年度に計画、H25年度から4年間かけて草地更新の計画。</li> <li>・バイオガスについては、美蔓地区の個別プラント、瓜幕地区の集中型プラントを計画中。</li> <li>・牛乳の需要拡大を図るキャンペーン実施など牛乳の需要拡大</li> <li>・家畜衛生対策については、宮崎県で発生した口蹄疫では、飲食店にも協力を受けた。発生しないための徹底した対策と、とっさの時の場合の消毒等の備蓄が必要。</li> <li>・家畜排せつ物の適性管理については、法改正にともない屋根付きの堆肥舎の整備を推進してきた。今後も法に沿って推進。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 農業委員会所管事業について（小林局長） 連番 83～84 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5期総計では、「農業者年金制度の普及」という項目があったが、今回は削除。平成14年度からの制度なので、普及は充分されている。総合計画には掲載しないが、今後も加入は促進する。</li> <li>・法令に基づく事務が多いため、独自の施策というのは特に無い。</li> </ul>			

	<p>□建築係所管事業について（津田課長、富樫建築係長）連番 73～74</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5期とは大きく変わらない目標となっている。</li> <li>・管内郡部町村では、鹿追町ほどの入居待ちは珍しい。常時 99% 程度の稼働率となっている。</li> <li>・住宅の老朽化も進み、将来負担が大きくなる可能性。</li> <li>・平成 13 年にストック活用計画を策定し、公営住宅の新築・修繕などを行ってきた。平成 22 年度から長寿命化計画を策定し、国の補助金を受けながら、既存の住宅の修繕にあたる予定。</li> <li>・公営住宅について、ご意見を頂きたいと思う。</li> </ul>
<p>議事概要</p>	<p>□バイオガスプラントの観光の関係性は ⇒修学旅行、研究機関等の視察の受け入れを検討していきたい。</p> <p>□バイオガスの多角的な利用については ⇒コスト面と相談しながら検討。国の施策を注視。</p> <p>□鹿追町の農地の耕作状況は ⇒ほぼ耕作放棄地は無い。売りや貸しの農地がでてでも既存の農家が利用している。新規就農の余地は無い。</p> <p>□公営住宅、町営住宅の更新について ⇒持ち家の建設促進、民間賃貸住宅の建設促進などとも関連させながら、総合的な住宅施策の検討を。</p>

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	経済専門部会（第4回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 迫田 明巳	
開催日時	平成22年8月11日 19:10 ～ 21:10			
開催場所	鹿追町役場2階 第2会議室			
会議次第 配布資料等	<input type="checkbox"/> 会議次第は特になし <input type="checkbox"/> 当日配布資料はなし			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 中野 松雄	欠	〃 石川 昇司
	出	代理 窪田 秀俊	出	〃 畑 久雄
	出	委員 鈴木 敏勝	出	農業振興課長 松本 新吾
	欠	〃 佐藤 章一	出	商工観光課長 黒井 敦志
	出	〃 坂本 昌彦	欠	農委事務局長 小林 正人
	欠	〃 村瀬 緑	出	建設水道課長 津田 祐治
	欠	〃 鈴木 朝子	出	企画財政課 迫田 明巳
	欠	〃 志賀 浩一		
出席説明員	農業振興課 課長補佐 浅野 富夫 〃 耕地整備係長 檜山 敏行 〃 農政係長 草野 礼行 建設水道課 課長補佐 蓮井 悦郎 〃 課長補佐 桜庭 力 〃 車両公園係長 坂井 克巳			
説明概要	<input type="checkbox"/> 農政係所管事業の林政分野について（草野係長） 連番 49～52 ・第5期総計から大きく変わらない。 ・無立木地、未立木地になるべく木を植えるような方向性。 ・法律も制定されたが、公共建築物に地元材を有効活用したい。 ・違法伐採、悪質開発行為に対して道と連携して対応していく。			
	<input type="checkbox"/> 耕地整備係所管事業について（檜山係長） 連番 83～84 ・第5期総計から大きく変わらない。 ・農政、畜産と連携し、農家や関係機関の要望を聞きながら、タイムリーな事業を実施したいと考えている。 ・出来上がったものについては、受益者や関係者一体となって管理し、長寿命化を図りたい。			
	<input type="checkbox"/> 土木係所管事業について（桜庭補佐） 連番 67～69 河川事業 ・未改修河川の整備。整備してからかなりの年数が経過している場所もある。			

	<p>連番 67～69 道路事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域、町内での道路整備の要望は多いが、全ては対応不可。</li> <li>・町の負担を減らしながら、補助事業を活用。補助事業の要件にあわせて実施していくと、必ずしも優先順位の順番どおりにはならないこともある。</li> <li>・橋梁の町寿命化の計画をH26. 3月までに策定し、補助金を受けて補修・修繕を図る。</li> <li>・今年度から、国の補助金が削減。今までのようなスピードでは整備できない可能性もある。</li> </ul> <p>□上下水道係所管事業について（蓮井補佐）</p> <p>連番 77～79 上水道事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5期総計から基本目標は変わらない。</li> <li>・未改修の配水管の改修、然別湖畔の浄水施設の早急な改修の2点が新たな事業になると思う。</li> </ul> <p>連番 80～82 下水道事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5期総計から大きく変わらない。</li> <li>・老朽化した機器や機械の更新、然別湖畔浄化センターの早急な機器や機械の更新</li> <li>・水洗化普及のための個別排水浄化槽設置の継続（H27年度まで）</li> </ul> <p>□車両公園係所管事業について（坂井係長）</p> <p>連番 75～76</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5期総計と大きくは変わらない。</li> <li>・分譲や民間住宅など市街地形成の変化に伴う既存公園の再考</li> <li>・花と芝生のまちづくりの中核施設となる「農芸公園」の整備</li> <li>・住民の生活道路の確保を適切に行っていく。交通安全対策や景観との兼ね合いも考えていきたい。</li> </ul>
<p>議事概要</p>	<p>□景観や環境に配慮した植林や農業基盤整備について ⇒農業振興課全体として検討する必要</p> <p>□魚道、落差工の改良など魚に適した環境づくり ⇒多面的な角度から考えながら、然別川を参考に検討</p> <p>□公園整備の再考について ⇒アンケート内容を参考に、今後の公園のあり方を検討していく。 公園管理について住民との協働の視点を検討。</p> <p>□除雪体制のあり方について ⇒現状は町に依存しすぎ。町民もできる限りのことをやっていく。</p>

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	経済専門部会（第5回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 迫田 明巳	
開催日時	平成22年8月18日 19:00 ～ 21:00			
開催場所	鹿追町役場2階 第2会議室			
会議次第 配布資料等	<input type="checkbox"/> 会議次第は特になし <input type="checkbox"/> 当日配布資料は別紙のとおり			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 中野 松雄	出	〃 石川 昇司
	出	代理 窪田 秀俊	出	〃 畑 久雄
	出	委員 鈴木 敏勝	出	農業振興課長 松本 新吾
	欠	〃 佐藤 章一	出	商工観光課長 黒井 敦志
	出	〃 坂本 昌彦	出	農委事務局長 小林 正人
	欠	〃 村瀬 緑	出	建設水道課長 津田 祐治
	欠	〃 鈴木 朝子	出	企画財政課 迫田 明巳
	欠	〃 志賀 浩一		
出席説明員	商工観光課 商工振興労政係長 東原 孝博 〃 観光振興係長 高井 宏行			
説明概要	<input type="checkbox"/> 商工振興労政係所管事業について（東原係長） <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会と調整し、時代背景にあった文言整理をしている。</li> <li>・H13年に道道拡幅の近代化終了しハード面は一定程度終了。2つの商店街の特色（十字街は花、アートロードはウィンドギャラリーと花）にあわせた連携をしていく。</li> <li>・道の駅、特産品部会と連携した物産振興支援。</li> <li>・道の駅、催事等での鹿追焼きのPR販売、陶芸講座を通じた鹿追焼きファンの底辺拡大。</li> <li>・オショロコマの観光資源としての活用、安定供給体制の確立、教育活動も含めた外来生物の防除を実施。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 観光振興係所管事業について（高井係長） 連番 56～66 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の動きとして、観光庁の設置や観光圏の整備法が制定されるなど観光を取り巻く状況は大きく変化している。</li> <li>・少子化や人口減の中、来訪者を増やし地域活性化に取り組むことが重要。商工業と連携が必要。</li> <li>・第5期総計で達成された部分（道の駅での観光インフォメーション機能、北十勝・西北十勝・シーニックバイウェイなどでの広域連携）、時代にそぐわない部分などの削除、修正等を行う。</li> <li>・第5期から大きく変わるところは、観光における情報提供の収集の重要性和インターネットの普及。</li> <li>・H19年度からは道東道開通に向けた道央圏へのPRを実施。</li> <li>・知名度アップ、ブランドイメージの向上を目指す。</li> <li>・町民、職員の意識啓発による鹿追町の観光資源のPR</li> </ul>			

議事概要	<p>□陶芸工作館での「鹿追焼き」について ⇒評価は高いので、事業化の検討や観光資源の目玉として売り出していくべきではないか。人員配置などの検討も含めて。</p> <p>□観光資源の「オショロコマ」や「かんの温泉」の現状について ⇒対策、経過等について質疑。</p> <p>□道東道全通に向けた観光戦略などについて ⇒新たな素材の掘り起しなども必要。今までと同じでは衰退してしまう。</p> <p>□道の駅の充実について ⇒商工会が一体となり飲食店の検討、観光案内所の規模拡大などについて検討すべきとの意見。</p>



第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	経済専門部会（第6回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 迫田 明巳	
開催日時	平成22年11月25日 19:00 ～ 21:30			
開催場所	鹿追町役場2階 第2会議室			
会議次第 配布資料等	<input type="checkbox"/> 会議次第は別紙 <input type="checkbox"/> 当日配布資料は別紙			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 中野 松雄	出	〃 石川 昇司
	欠	代理 窪田 秀俊	出	〃 畑 久雄
	出	委員 鈴木 敏勝	出	農業振興課長 松本 新吾
	出	〃 佐藤 章一	出	商工観光課長 黒井 敦志
	欠	〃 坂本 昌彦	出	農委事務局長 小林 正人
	出	〃 村瀬 緑	出	建設水道課長 津田 祐治
	欠	〃 鈴木 朝子	出	企画財政課 迫田 明巳
	欠	〃 志賀 浩一		
出席説明員	農業振興課 課長補佐 浅野 富夫 〃 耕地整備係長 檜山 敏行 〃 農政係長 草野 礼行 建設水道課 課長補佐 桜庭 力 〃 車両公園係長 坂井 克巳 〃 上下水道係長 大上 朋亮 〃 建築係長 富樫 靖 商工観光課 観光振興係長 高井 宏行			
説明概要	<input type="checkbox"/> 農政係所管事業について（草野係長） ・戸別所得補償制度との関係性については、現在、戸別所得補償制度が、モデル的に行われているが、今後は様々な補償制度が出てくとも考えられるので、広く「国の各種補償制度」に変更している。 ・ワーキングセンターについては、現在は、研修と製造・販売用に使われており、製造・販売用に使用したいというニーズも大きいところである。ワーキングセンターの今の機能を拡充させていくのか、新たに建設していくのか、それに対して町がどのような支援を行っていいのかということで「活用方法について検討します」という文言にしている。 ・また農業者のみならず、農業者と商業者の連携した取り組みについても、同じような形で町として支援をしていこうということで追加した。 ・有機農業についての検討という意見があったが、大規模化が進む農業生産の中で、町全体として推進していくのは難しい。農家の選択肢のひとつとしてあっても良いのかなとは思う。バイオガスパラントで得られる液肥や、西原環境テクノロジーの施設の利用、関係機関とも協力しながら検討を進めたい。			

・林政分野については大きな変更はないのだが、最近目立っている違法伐採や無許可伐採の未然防止を追加した。鹿追町内では見られないが、未然防止に更に努めていきたいという観点で。

□畜産環境整備係所管事業について（浅野補佐）

・バイオガスプラントについては、バイオマス施設から得られるエネルギーの有効活用と消化液の全町的な推進をしていく。  
・牛乳の消費拡大について、これまでも実施してきており、これからも引き続き関係機関と積極的に推進  
・農業者従業員の住環境整備の追加については、民間住宅や持家住宅の整備等によって、従業員住宅の整備も一定程度進んできた。今後も既存の公営住宅の整備・建設や、防衛官舎の払い下げなどの活用も検討したい。

□耕地整備係所管事業について（檜山係長）

・環境への配慮や農村景観への配慮は土地改良法の中でも謳っていることである。アウトドアとの連携は、補助事業の関係で、できる場合とできない場合があるので、個々の事業で検討したい。

□建設係所管事業について（富樫係長）

・公営住宅依存率（平均程度）、給与住宅比率（自衛隊官舎の影響もあり多い）、民間借家率（公営住宅や給与住宅が多く、この程度でも賄えた）、持家率（給与住宅が多いためこの程度）について鹿追町の現状を説明  
・来年度までに、アパート（6棟43戸）、町営住宅（2棟12戸）、持家20戸程度が建設され、住宅不足が解消される見込み  
・現在の入居待ちは、単身9名、世帯17件である。うち町外からの通勤者は1件のみであり、それも近々入居できる予定。来年度から鹿追町で仕事をしたいという人が、5件あるが住宅は手当てできる予定である。他の入居待ちの方は、親など家族と同居していたり民間住宅に入居しており、住宅困窮者ではないと判断。  
・アンケートへの対応策について、資料に沿って説明

□土木係所管事業について（桜庭補佐）

・魚道、落差工について検討という意見があったが、改修等が済んでいて、魚が住めるような河川がほとんど見当たらないというのが実際のところ。一定程度の水位・水量が必要。基本計画に入れていくのは難しいと考えている。

□車両公園係所管事業について（坂井係長）

・アンケート調査を検討、分析してみたところ、現状の公園に対しては満足度が高い。また重要度も高くはないという結果。  
・色々な個別の意見もあるが、現状の公園を維持管理して充実させていくということを考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働の視点での維持管理、ふれあい農芸公園の町民参加なども意見としてあったので、そういったことは追加していきたい。協働で維持管理していければ役場としても、良いことと思っている。</li> </ul>
<p>議事概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□農政分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングセンターの活用の枠を出た農商工連携を、側面的に支援していくという形に整理する。</li> <li>・ワーキングセンターの活用方法も今後検討していく。</li> </ul> </li> <li>□畜産環境分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業従業者住宅について、民間の動向などを注視しながら整備をする。</li> <li>・バイオガスプラントの消化液の有効活用を図っていく。</li> </ul> </li> <li>□耕地整備分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境、農村景観に配慮した農業基盤整備を検討していく。</li> </ul> </li> <li>□建築分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・公営、町営住宅の基本的な方向性としては、改修・修繕・建て替えなどをしながら、総体的な戸数は増やしていかない。</li> <li>・各種支援制度に国の交付金等を充当していく。</li> <li>・民間賃貸住宅の紹介の可否について、関係機関に確認。</li> </ul> </li> <li>□土木分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚道工などの文言の追加を検討。必ず実施という訳ではなく、あくまでも検討や努力といったニュアンスで可。</li> </ul> </li> <li>□車両公園分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に現状の公園を維持管理し充実を図る。</li> <li>・町民との協働や、町民参加の視点を追加していく。</li> </ul> </li> <li>□上下水道分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川水の浄化については自衛隊で対応化。基本計画の変更なし。</li> </ul> </li> <li>□農業委員会分野 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特段意見が無かったため、基本計画の変更なし。</li> </ul> </li> </ul>

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	経済専門部会（第7回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 迫田 明巳	
開催日時	平成22年12月7日 13:00 ~ 15:00			
開催場所	鹿追町役場3階 委員会室			
会議次第 配布資料等	<input type="checkbox"/> 会議次第は別紙 <input type="checkbox"/> 当日配布資料は別紙			
委員 事務局等 出欠	出	部会長 中野 松雄	出	〃 石川 昇司
	出	代理 窪田 秀俊	出	〃 畑 久雄
	出	委員 鈴木 敏勝	出	農業振興課長 松本 新吾
	出	〃 佐藤 章一	出	商工観光課長 黒井 敦志
	欠	〃 坂本 昌彦	出	農委事務局長 小林 正人
	欠	〃 村瀬 緑	出	建設水道課長 津田 祐治
	出	〃 鈴木 朝子	出	企画財政課 迫田 明巳
出	〃 志賀 浩一			
出席説明員	農業振興課 課長補佐 浅野 富夫 商工観光課 商工振興労政係長 東原 孝博 〃 観光振興係長 高井 宏行			
説明概要	<input type="checkbox"/> 農政所管事業（浅野補佐） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキングセンターのみならず、農業振興センターや民間の施設も考えられることから、「ワーキングセンター等食品加工施設」に修正。</li> <li>・農商連携の追加（後ほど、農商工連携に修正）。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 畜産環境係所管事業（浅野補佐） <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のバイオガスプラントを有効活用していくという視点と、今後建設していくという視点から「バイオガスプラントの有効活用・推進」に修正。</li> <li>・消化液の活用を「全町的に推進」から「全町的に拡大」に修正</li> <li>・農業者従業員の住環境整備を「検討」から「推進」に修正。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 耕地整備係所管事業（浅野補佐） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「農村景観等に配慮し」という文言を加え、単に基盤整備を進めるだけでなく、農政や林政との連携を図りながら、農村景観に配慮した基盤整備を推進。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 土木係所管事業（津田課長） <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川改修の際の自然体系維持という意見を受けて、「施設保全」という文言を追加。現状と課題についても、「川に生息する生き物が減少傾向のあり、その復元に向けた施設づくり等も併せて実施していく必要がある」といった現状・課題認識に修正。</li> </ul>			

□建設係所管事業（津田課長）

連番 73

- ・公営住宅の新築及び改修については長寿命化を基本にする。
- ・新築住宅におけるユニバーサルデザインの積極的活用及び既存住宅のバリアフリー化を図る。
- ・住宅周辺の環境整備の指導強化等による、保全・整備の充実。
- ・水洗化になっていないような耐用年数を超えた住宅の用途廃止と解体を進める。
- ・民間のアパートが今年度、多数建設されており、また持家住宅等の建設もあり、現状の戸数で公営住宅は対応できるものとする。
- ・民間の住宅情報も情報の提供をいただければ、紹介していただけるものと考えている。

連番 74

- ・目標や計画を定め、個人の住財産を価値あるものにし、質の向上を図っていく。
- ・国の交付金を受けて、一定のルールに沿った持家住宅の建設に対しての助成、中古住宅や改築に対する支援、民間賃貸住宅建設促進の検討（これまでは町の一般財源で実施）。

□車両公園係所管事業（津田課長）

- ・介護住宅の建設に際して、前回の表記から、一般公園が1箇所増（16箇所）、児童公園が1箇所減（3箇所）となっている。
- ・「住民と協働しながら」という文言を追加し、協働での公園づくりや維持管理を目指す。
- ・ふれあい農芸公園の整備に関して、「町民が参加できる」という文言を追加。

□商工振興労政係所管事業（東原係長）

- ・前回の指摘にあった「農商工連携による商品開発、経済効果」を追加。
- ・前回の指摘にあった「道の駅の施設機能強化と観光案内の充実」について追加。
- ・陶芸鹿追焼については、産業と教育のどちらのスタンスなのかという指摘があったが、現状で見通しが立っていないため、位置付けを見定めながら、生産体制強化の整備を行うと整理。

□観光振興係所管事業（高井係長）

- ・高速道路開通に向けた対策として、農商工で連携しながら、知名度アップだけではなく、経済効果を高めるような取り組みを推進していく。また「新たな観光集客素材となる地域資源」の把握と連携を図っていく。
- ・観光案内機能の強化のためにも、時代のニーズに対応できる民間人材育成を図っていく。
- ・民間情報の収集の発信だけでなく、収集も図っていく。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つの道の駅があるという鹿追町の利点を生かすため、道の駅の情報発信の強化を図る。あわせて観光案内所の良さを生かしていく。</li> <li>・ 体験、学習機能の強化ということで、町内には各種の素材があるが、「環境保全センター」は、施設の整備も進めており、研修や修学旅行の誘致も図っている。そういった施設を上手く利用していきたい。</li> </ul> <p>□基本構想案について（迫田主事）</p>
<p>議事概要</p>	<p>□前回指摘事項（農業振興課）に係る修正について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異議なし</li> </ul> <p>□前回指摘事項（建設水道課）に係る修正について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 然別川の桜並木を活用するために、並木道の整備をしては。 ⇒管理者の北海道に要望をしていきたい。</li> </ul> <p>□商工観光課所管事業について説明・質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分かりづらい横文字が多いが。 ⇒レスポンス・ブロガーの文言を整理したい。</li> <li>・ 観光案内看板の整備が必要では。 ⇒基本的には、観光案内所を活用してもらいたい。案内板を整備する費用があれば、広告宣伝費に使いたいというのが、基本的な考え方。公共施設の看板も含めた、看板の設置については、企画財政課で改めて検討が必要。</li> </ul> <p>□基本構想（案）について説明・質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ P4のところに「然別湖」「ナキウサギ」に加えて「オシヨロコマ（ミヤベイワナ）」の記載が必要だと思う。 ⇒意見として受ける。経済専門部会にて、文言を付け加えるという判断はできない。</li> </ul>

第6期鹿追町総合計画策定会議専門部会議事録

専門部会名	経済専門部会（第8回）	議事録作成者	企画財政課企画係 主事 迫田 明巳	
開催日時	平成23年1月18日 13:00 ~ 14:15			
開催場所	鹿追町役場3階 研修室			
会議次第 配布資料等	<input type="checkbox"/> 会議次第は別紙 <input type="checkbox"/> 当日配布資料は別紙			
委 員 事務局等 出 欠	出	部会長 中野 松雄	欠	〃 石川 昇司
	出	代理 窪田 秀俊	出	〃 畑 久雄
	出	委員 鈴木 敏勝	出	農業振興課長 松本 新吾
	出	〃 佐藤 章一	出	商工観光課長 黒井 敦志
	出	〃 坂本 昌彦	出	農委事務局長 小林 正人
	出	〃 村瀬 緑	出	建設水道課長補佐 桜庭 力
	出	〃 鈴木 朝子	出	企画財政課 迫田 明巳
	出	〃 志賀 浩一		
出席説明員	なし			
説明概要	<input type="checkbox"/> 農業振興課所管事業（松本課長） ・鳥獣害対策の追加について <input type="checkbox"/> 基本構想の変更部分について（迫田主事）			
議事概要	<input type="checkbox"/> 鳥獣害対策の追加について ⇒広域的な取り組みを行っていくことが重要。文言の修正を。 （別紙：修正版添付） <input type="checkbox"/> 水資源対策の文言追加について ⇒総務専門部会に検討依頼。総務専門部会での検討の結果、文言の追加なし。 <input type="checkbox"/> 家畜ふん尿の有効活用について ⇒バイオガスプラント以外での家畜ふん尿の活用が記載されていない。追加すべき。（別紙：修正版添付） <input type="checkbox"/> 農畜産物ではなく、「農畜水産物」と表記すべきでは ⇒農業分野では「農畜産物」で維持。商工観光分野での表記を「農畜水産物」とする。			